

## 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

### 法 規

〔1〕 次の記述は、電波法の目的である。□ 内に入るべき字句を下の番号から選べ。

この法律は、電波の公平かつ □ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。

- 1 能率的
- 2 経済的
- 3 積極的
- 4 能動的

〔2〕 総務大臣が無線従事者の免許を与えないことができる者は、無線従事者の免許を取り消され、取消しの日からどれほどの期間を経過しないものか。次のうちから選べ。

- 1 1年
- 2 2年
- 3 3年
- 4 5年

〔3〕 無線局の臨時検査(電波法第73条第5項の検査)において検査されることがあるものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の知識及び技能
- 2 無線従事者の勤務状況
- 3 無線従事者の資格及び員数
- 4 無線従事者の住所及び氏名

〔4〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 通信の相手方の制限
- 2 電波の型式の制限
- 3 無線従事者の業務の従事停止
- 4 無線局の運用の停止

〔5〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 2 直ちに廃棄する。
- 3 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 4 2年間保管する。

〔6〕 固定局に備え付けておかなければならない書類はどれか。次のうちから選べ。

- 1 免許証
- 2 免許状
- 3 無線従事者選解任届の写し
- 4 無線設備等の点検実施報告書の写し

# 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

## 法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
- 2 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、通報の送信終了後一括して訂正しなければならない。
- 3 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
- 4 無線通信を行うときは、自局の識別信号を付して、その出所を明らかにしなければならない。

〔8〕 無線局がなるべく擬似空中線回路を使用しなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 工事設計書に記載した空中線を使用できないとき。
- 2 他の無線局の通信に混信を与えるおそれがあるとき。
- 3 総務大臣の行う無線局の検査のために運用するとき。
- 4 無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するとき。

〔9〕 モールス無線通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、1分間について何字と規定されているか。次のうちから選べ。

- 1 60字
- 2 50字
- 3 85字
- 4 75字

〔10〕 空中線電力50ワットの固定局の無線設備を使用して呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときの呼出しは、どれによることができるか。次のうちから選べ。

- |                |      |
|----------------|------|
| 1 (1) 相手局の呼出符号 | 3回以下 |
| (2) DE         | 1回   |
| 2 (1) DE       | 1回   |
| (2) 自局の呼出符号    | 3回以下 |
| 3 相手局の呼出符号     | 3回以下 |
| 4 自局の呼出符号      | 3回以下 |

〔11〕 「OSO」を前置した呼出しを受信した無線局は、応答する場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 混信を与えるおそれのある電波の発射を停止して傍受する。
- 2 直ちに付近の無線局に通報する。
- 3 直ちに非常災害対策本部に通知する。
- 4 すべての電波の発射を停止する。

〔12〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
- 2 中止の要求があるまで呼出しを反復する。
- 3 直ちにその呼出しを中止する。
- 4 混信の度合いが強いときに限り、直ちにその呼出しを中止する。